

## 会議議事録

会議名	2018年度 第3回学校関係者評価委員会	
開催日時	2019年3月9日(土) 10時00分～11時00分	
会場	彰栄保育福祉専門学校本館 会議室	
参加者	外部委員	児島 康夫 川越キングス・ガーデン 理事 山本 慎介 わかたけかなえ保育園 園長 鈴木 一伸 ニツ橋あいりん幼稚園 副園長 津村 利治 彰栄学園理事評議員 彰栄幼稚園園長 卒業生
	内部委員	加藤 啓、桐原 明子、櫻岡 八千代、伊藤 智行
	欠席者	阿川 裕孝、鈴木 康洋
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度 自己点検・自己評価報告書</li> <li>・第2回学校関係者評価委員会 議事録</li> <li>・彰栄保育福祉専門学校 平成31年度重点目標</li> </ul>	
会議録	<p>1. 理事長挨拶（代理：桐原）</p> <p>2. 委員長のあいさつ（児島）</p> <p>3. 今年度の重点目標について（桐原）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づき、平成31年度の重点目標について説明された。</li> <li>重点項目（1）学生募集体制の強化</li> <li>（2）退学防止対策の強化</li> <li>（3）教員組織の再構築</li> </ul> <p>【委員からの質疑応答・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新プロジェクトから提示されたアイディアは、どのようなものがあったのか。（山本）</li> <li>・多かったのは、広報活動面での教職員の連携についてである。教員と広報担当の職員が連携して学校説明会などを企画・運営することで、より良い学生募集につながるのではないかと、という提案である。また、たとえばトイレの改修など、校舎の改築に関することである。ハード面もソフト面も、学生がより快適な学生生活が送れるようにする必要があることを提案した。（綾）</li> <li>・介護現場では外国人に頼らざるを得ない状況になってきているが、外国人留学生への募集活動はいかがか。（児島）</li> </ul>	

・今年度も外国の方の応募が3名あった。日本語の問題で不合格にせざるを得ない方もいたが、日本語学校からの応募者1名が合格している。現在1年生の留学生も実習ではとても評価が良い。(伏見)

・今まで、この会議で話をしてきたことが明文化されており、嬉しく思う。特に、教員組織の再構築については、時間をかけて、それぞれの先生方のいつもとは違った面が見えるような場があると良いと思う。スポーツ大会で教員チームを作ったりするのも一案である。(鈴木)

・退学防止については、魅力ある学校として、長い歴史を持っているという面と同時に、他の学校の取り組みも参考にしながら新しい取り組みもしていくと良いのではないか。(児島)

・他の学校のホームページも参考にしながら、新しい取り組みを考えているところである。特に、来年度はチャペルアワーを大切にしながらも、時間数を半分にして、多様な活動を取り入れる予定である。多くの教職員が関われるような取り組みをしていきたい。(桐原)

・退学防止と同時に、教職員も離職者防止のために、各々の意見を共有できるような場があると良いと思う。(児島)

・変革には、時間・金・労力がかかる。現在の仕事の上乗せでは、ひずみが出てしまうので、教員の負担が多くならないようにする必要がある。(山本)

・「みんなで新しいことをやりましょう」という教職員の関係性を築くことが大切である。負担感ばかりが大きくなってしまわないようにする必要がある。(鈴木)

・学校の持つ魅力を是非発信してほしい。(児島)

・実習以外のところで「子どもと関わるのが楽しい」と思えるような経験も必要である。実際に、来年度から実習以外の科目の専門学校教員から授業で幼稚園の子どもたちと交流を持ちたいという提案があった。また、先日はリハビリテーション専門学校の学生が実習に来て、リハビリの教員との交流もできた。(津村)

4. 平成 30 年度 自己点検・自己評価の作成スケジュールについて  
(伊藤)

「平成 30 年度 自己点検・自己評価」は、次回の委員会までに案を出すことができるよう準備を進める予定であることが説明された。

5. 次回の日程について (伊藤)

外部委員の先生方には、来年度も引き続き委員をお願いした。

来年度の委員会日程について、下記の通り予定された。

・ 2019 年度第 1 回学校関係者評価委員会

2019 年 6 月 8 日 (土) 午前